

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2006年20週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
 - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「ニパウイルス感染症」

東京都医師会感染症予防検討委員会
事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)
FAX:03-5332-7365
E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp
アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2006年20週》

(全数把握対象疾患)

・腸管出血性大腸菌感染症のうち、2例(O157 VT1・VT2)は各々家庭内での二次感染が疑われている。

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路 等)	推定感染地
三類	腸管出血性 大腸菌感染症	8	O157 VT1・VT2(4件)、VT2(2件)	国内
			O26 VT1(2件)	
四類	マラリア	1	三日熱マラリア	インド
	レジオネラ症	1	推定感染経路:入浴施設の使用	国内
五類	アメーバ赤痢	5	推定感染経路:同性間性的接触1件、 経口2件、不明2件	国内
	ウイルス性肝炎	1	B型 推定感染経路:異性間性的接触	インドネシア
	クリプトスポリジウム症	1	推定感染経路:不明	国内
	クロイツフェルト・ ヤコブ病	1	感染性(医原性)、ほぼ確実 推定感染経路:ヒト乾燥硬膜	国内
	後天性免疫 不全症候群	8	無症候性キャリア 推定感染経路:同性間性的接触6件、 不明2件	国内
	ジアルジア症	2	推定感染経路:経口感染	韓国、インド
	梅毒	3	早期顕症梅毒Ⅰ期 1件 早期顕症梅毒Ⅱ期 2件 推定感染経路:異性間性的接触2件、 性別不明性的接触1件	国内2件、 国外(感染地域不明)1件

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

(定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、依然として高い値で推移している。
水痘は減少した。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
インフルエンザ(B型)	17	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	遺 伝 子
上気道炎 喘息	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
急性気管支炎	6	咽頭拭い液	EBウイルス	
喘息性気管支炎	6M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
ムンプス	13	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	遺伝子
不明発しん症	8M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	
ウイルス関連性 血球貪食症候群	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
		鼻汁	アデノウイルス	
ネフローゼ症候群	3	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
熱性けいれん	1	咽頭拭い液	ライノウイルス、 ヒトヘルペスウイルス7型、 サイトメガロウイルス	
急性胃腸炎	0	糞便	ロタウイルス	抗原
上気道炎、胃腸炎	10M	咽頭拭い液	アデノウイルス1型	分離*

* 遺伝子検査で既に報告済みの検体

腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		1	4	5
O26	2			2
O121		1		1

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査 試料数	陽性数	ノロウイルス		ロタ ウイルス	その他
			G I	G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	94	8	5	3		

定点医療機関からのコメント

台東保健所

- ・インフルエンザ1件(B型、中学生男子。学内で流行中)

世田谷保健所

- ・インフルエンザ1件(B型)
- ・インフルエンザ1件(B型)

大田区保健所

- ・インフルエンザ1件(A型)
- ・アデノウイルス感染症が増加しています。

多摩小平保健所

- ・インフルエンザ5件(B型、小学生)
- ・水痘が増えてきている印象です。

八王子保健所

- ・溶連菌感染症が流行中です。

全数把握対象疾患 患者報告数 2006年20週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ			1		1		15
	細菌性赤痢		2	2		28	5	166
	ジフテリア							
	腸チフス	2				12		35
パラチフス		1	1		9		12	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	1	3	8	30	53	263
四類	E型肝炎						1	27
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2		2		19	5	152
	エキノコックス症							9
	黄熱							
	オウム病		1			3	1	7
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病						9	41
	デング熱			1		4		15
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症					1		1
発しんチフス								
ボツリヌス症								
マラリア			1	1	7	2	14	
野兔症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1		2	1	17	6	114	
レプトスピラ症								
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	3	4	5	65	14	232
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			1	1	15	2	80
	急性脳炎					4	1	78
	クリプトスポリジウム症				1	5	1	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	9	5	63
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			5	2	50
	後天性免疫不全症候群	2	3	15	8	169	12	394
	ジアルジア症		1	1	2	10	2	25
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		7
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1	3	3	35	10	199
	破傷風					2	1	22
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					4	1	26

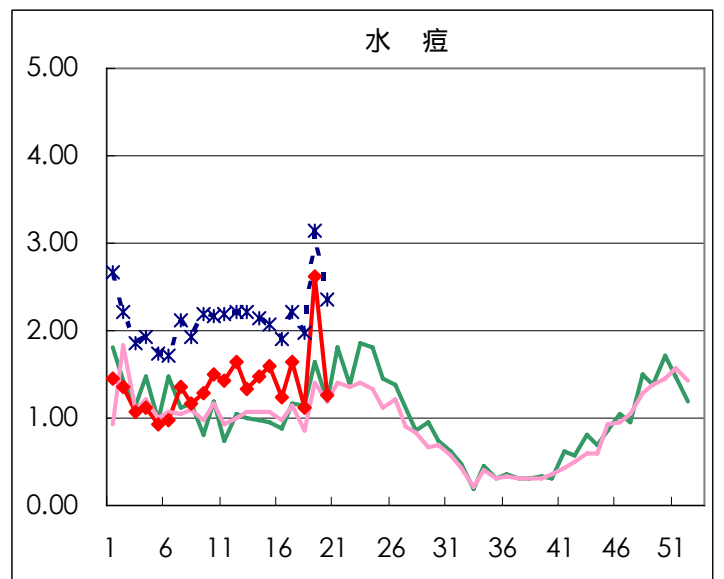
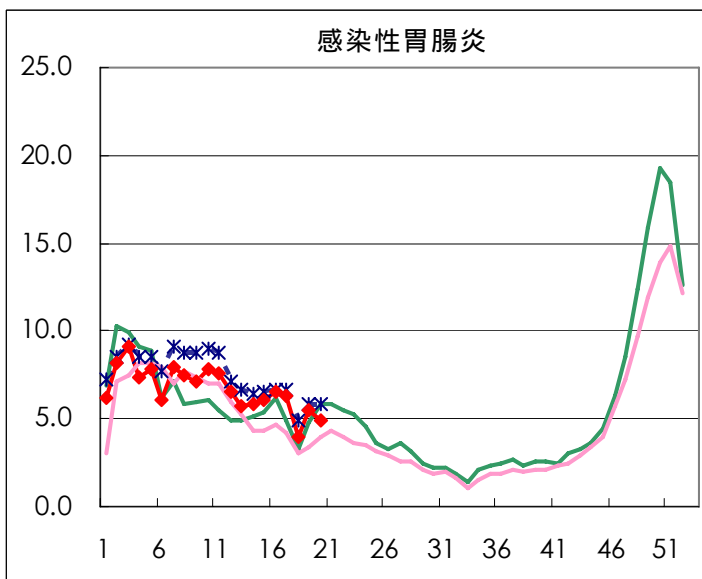
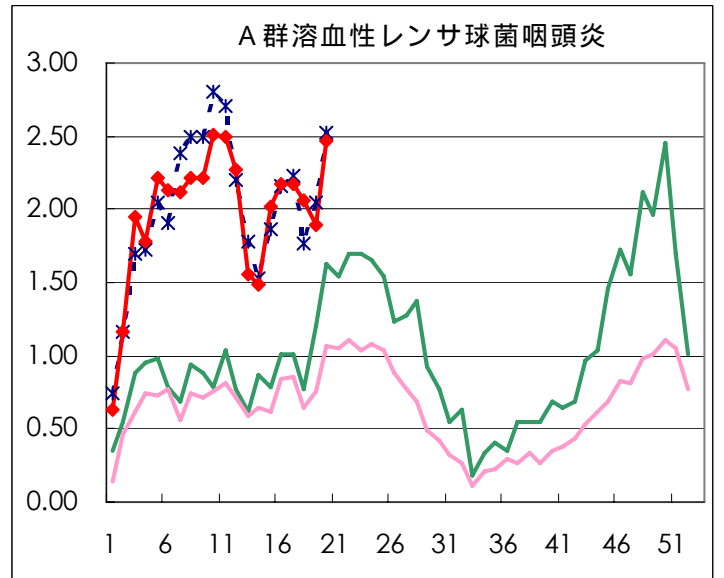
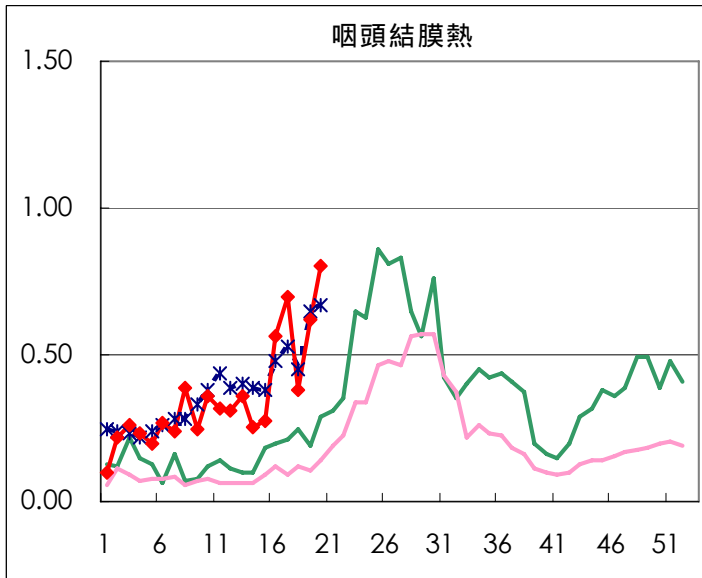
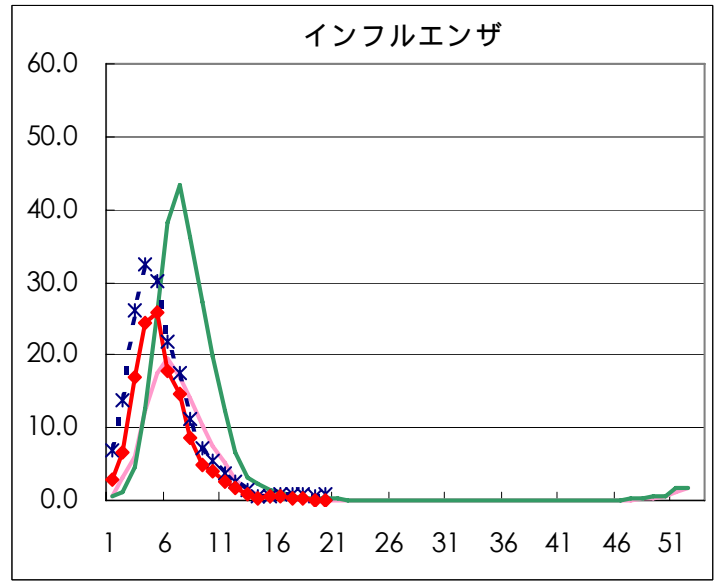
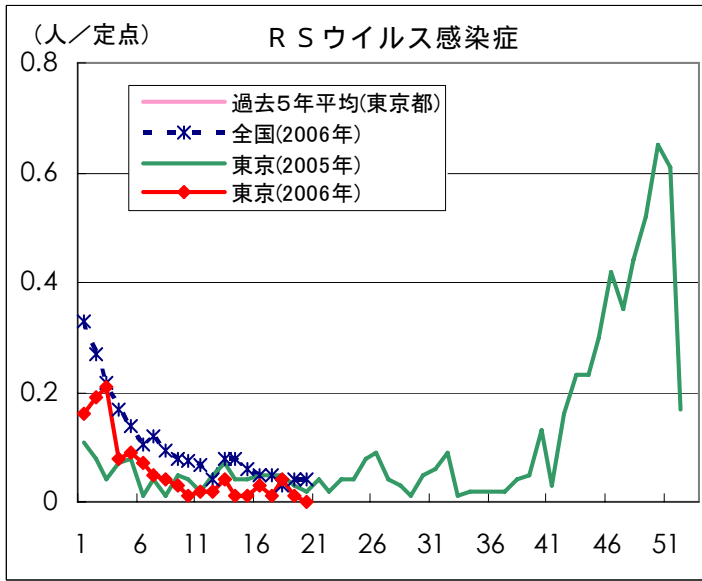
2006/05/24集計

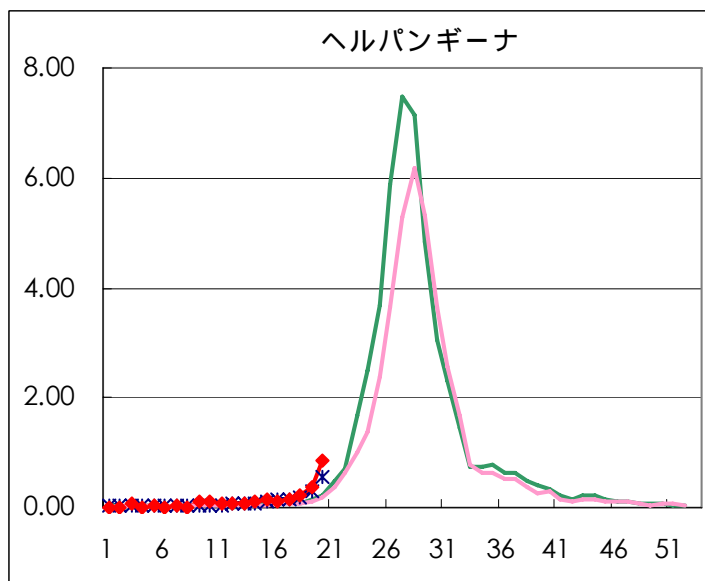
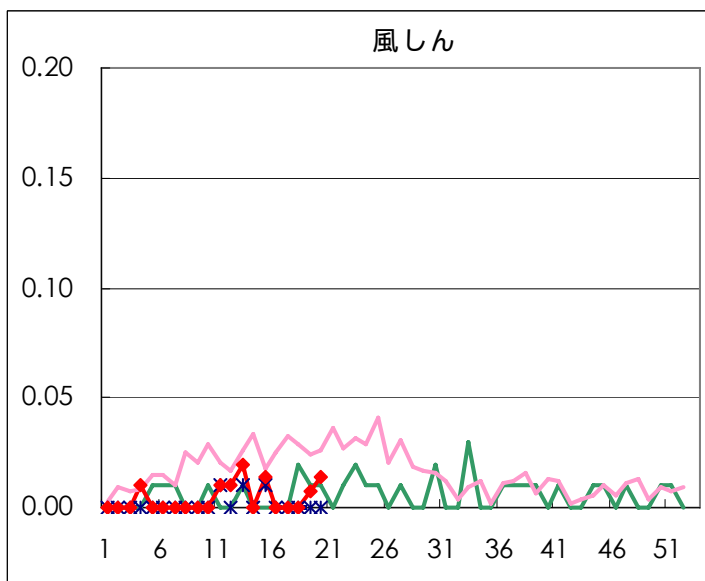
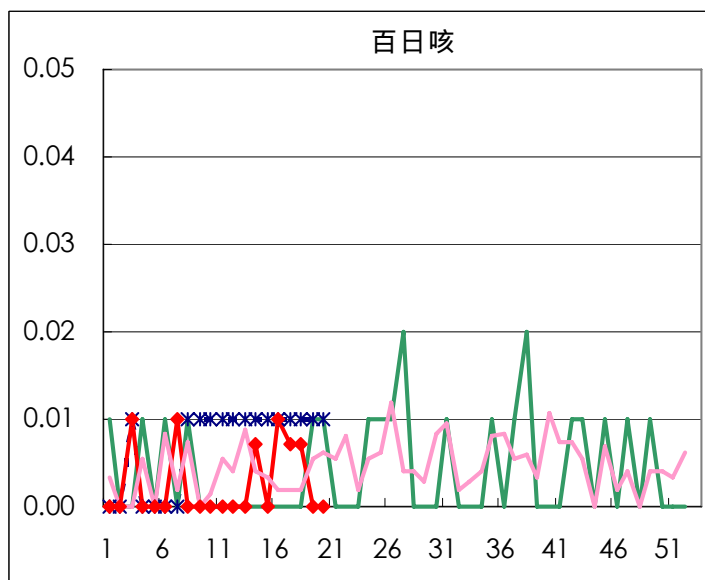
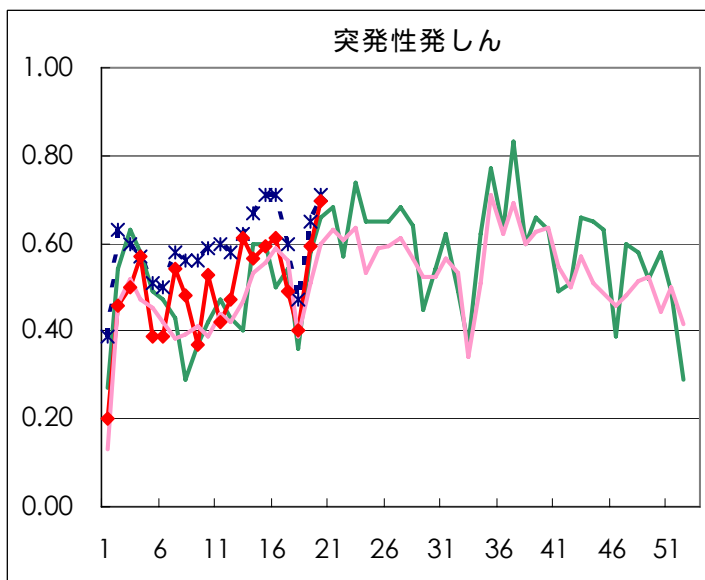
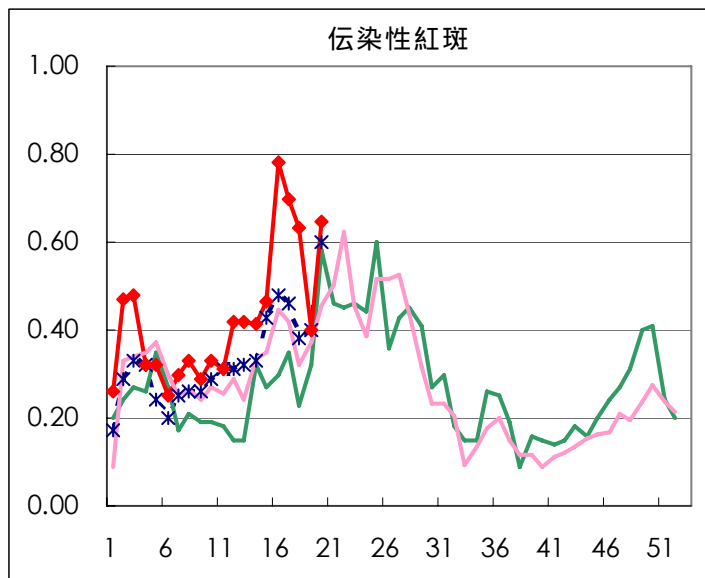
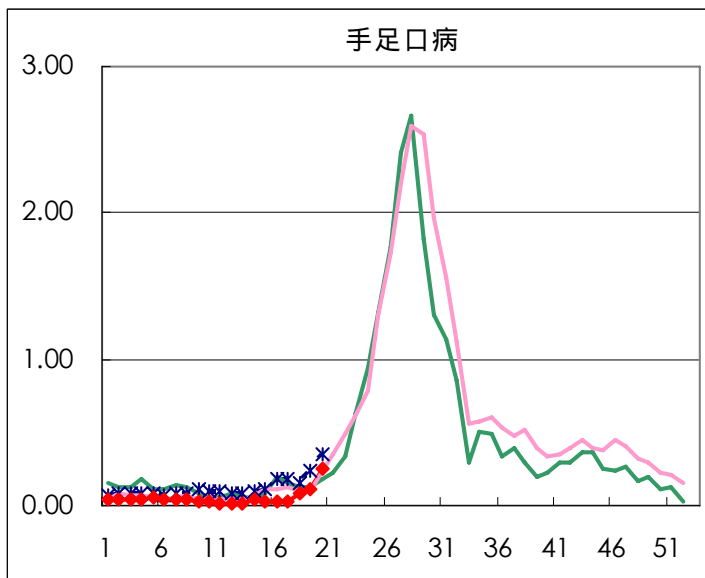
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2006年20週

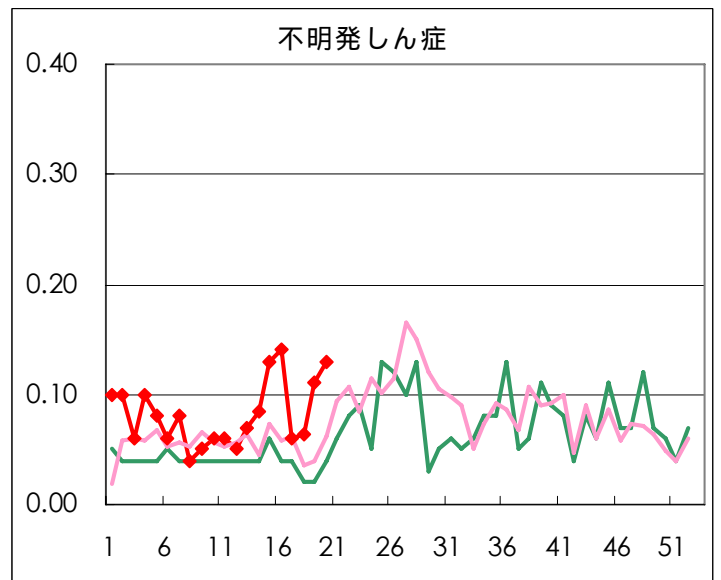
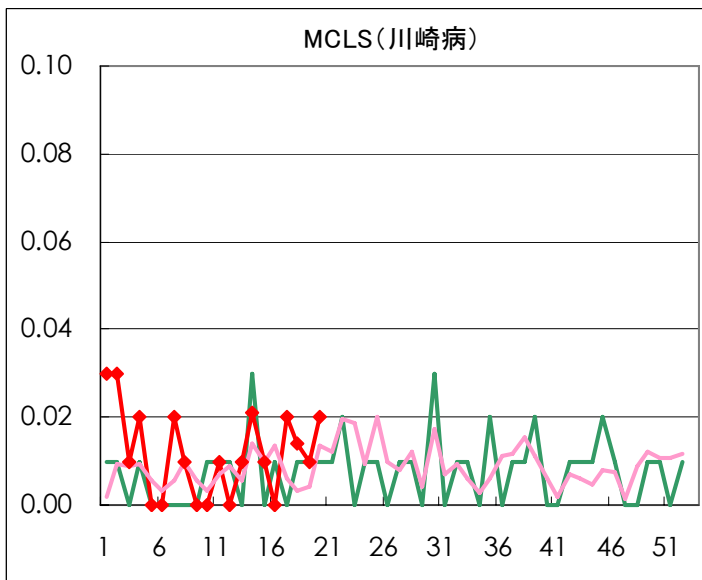
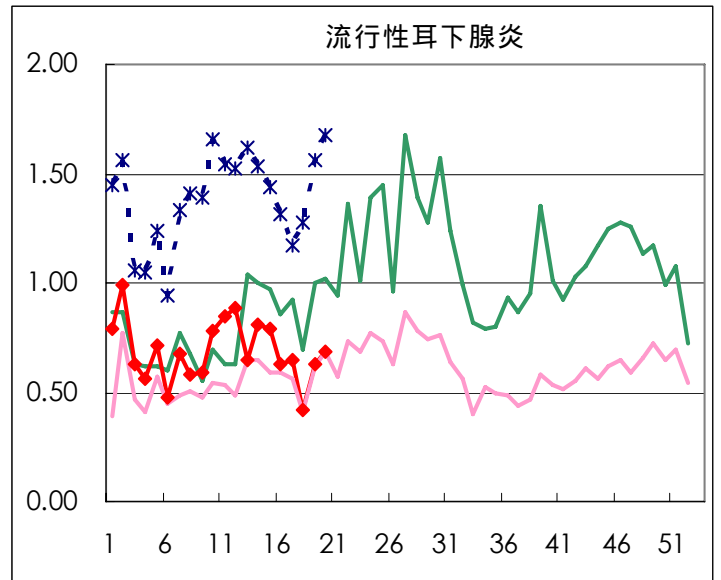
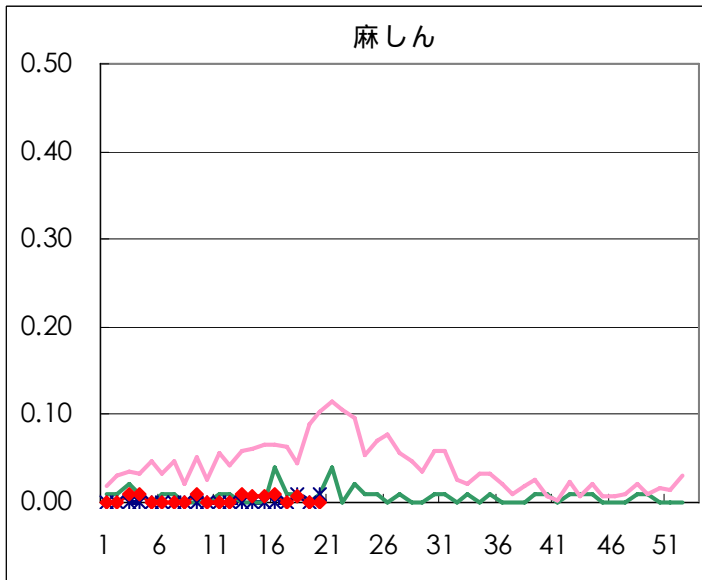
疾病名	性	2006年				4週合計	年累計
		17	18	19	20		
RSウイルス感染症	男	1	4			5	92
	女		1	1		2	71
インフルエンザ	男	52	22	4	12	90	12,039
	女	23	19	5	7	54	11,852
咽頭結膜熱	男	52	31	50	62	195	534
	女	47	23	38	52	160	473
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	171	166	136	180	653	2,964
	女	137	127	133	170	567	2,647
感染性胃腸炎	男	465	289	395	371	1,520	9,806
	女	429	270	388	321	1,408	9,208
水痘	男	125	85	191	90	491	2,036
	女	108	74	180	90	452	1,883
手足口病	男	2	6	8	24	40	80
	女	1	5	7	11	24	60
伝染性紅斑	男	44	56	30	40	170	620
	女	55	34	27	52	168	594
突発性発しん	男	35	33	37	58	163	744
	女	35	24	48	40	147	661
百日咳	男	1	1			2	5
	女						2
風しん	男			1	2	3	7
	女						5
ヘルパンギーナ	男	11	9	25	65	110	181
	女	12	21	30	55	118	190
麻しん(成人麻しんを除く)	男		1			1	8
	女						1
流行性耳下腺炎	男	52	34	46	51	183	1,047
	女	40	26	43	47	156	913
不明発しん症	男	5	6	6	8	25	118
	女	4	3	10	11	28	111
MCLS	男	2	1	1	1	5	17
	女	1	1	1	2	5	18
急性出血性結膜炎	男			1		1	3
	女						1
流行性角結膜炎	男	6	6	13	10	35	88
	女	5	5	10	2	22	65
細菌性髄膜炎	男						2
	女	1				1	1
無菌性髄膜炎	男	1				1	4
	女			1		1	2
マイコプラズマ肺炎	男			1		1	26
	女	1				1	15
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2006年20週現在

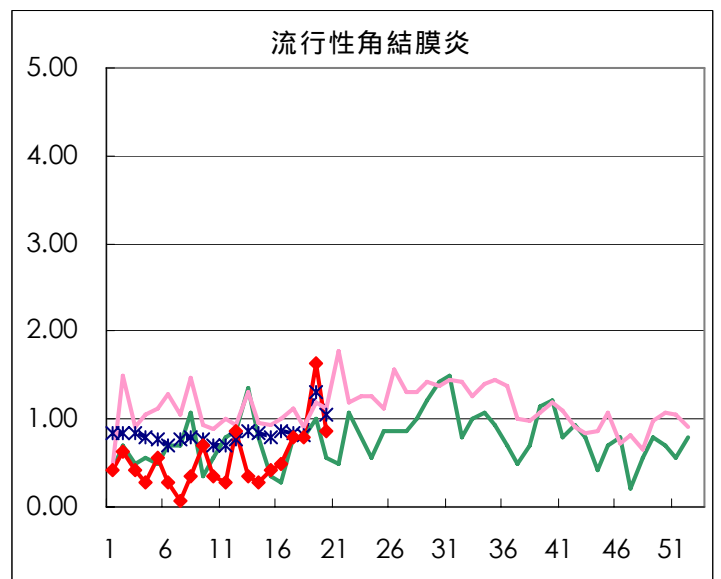
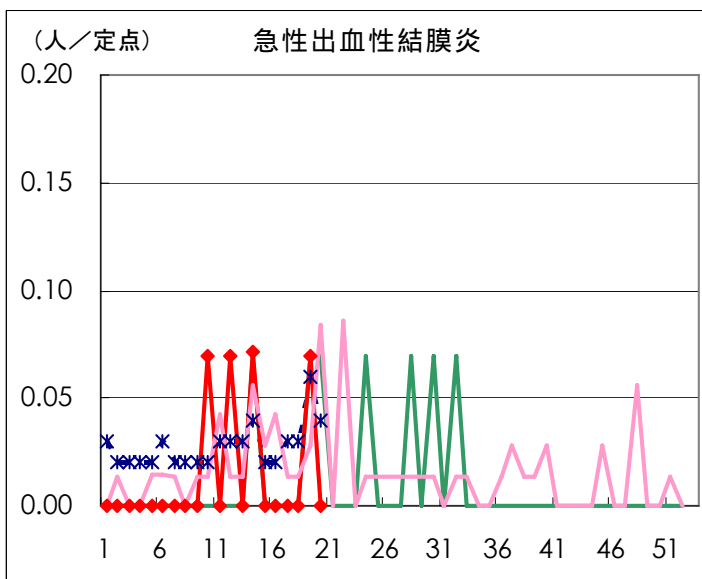
◆ 小児科・インフルエンザ定点



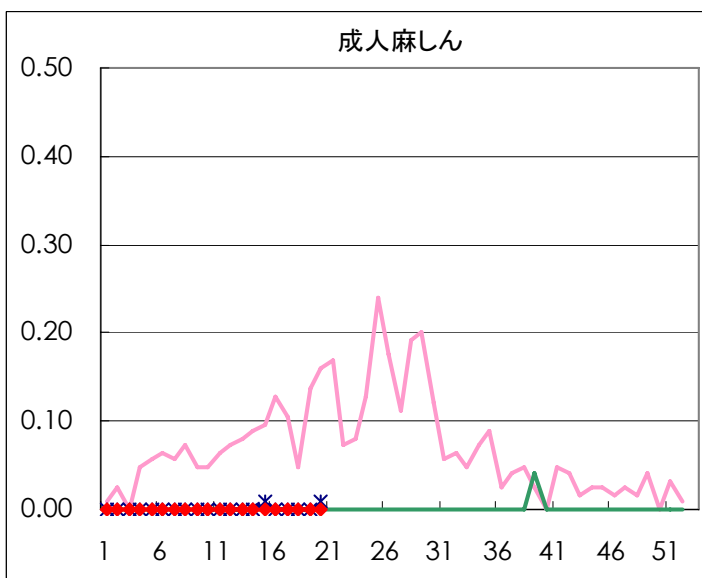
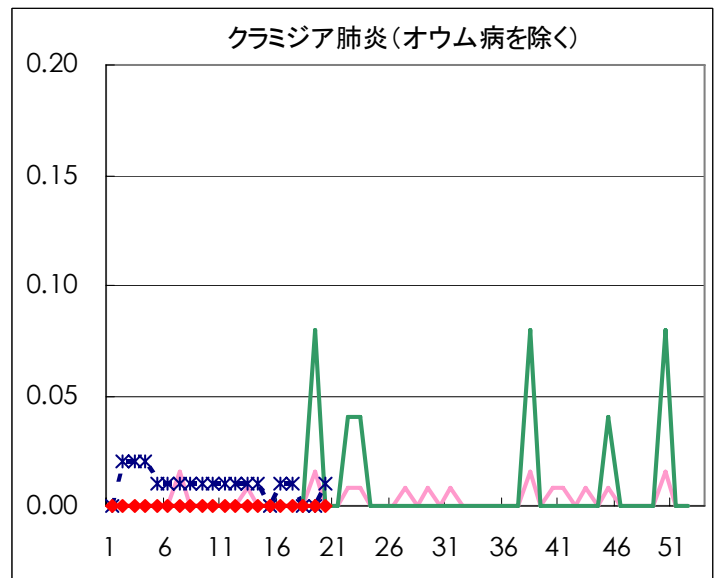
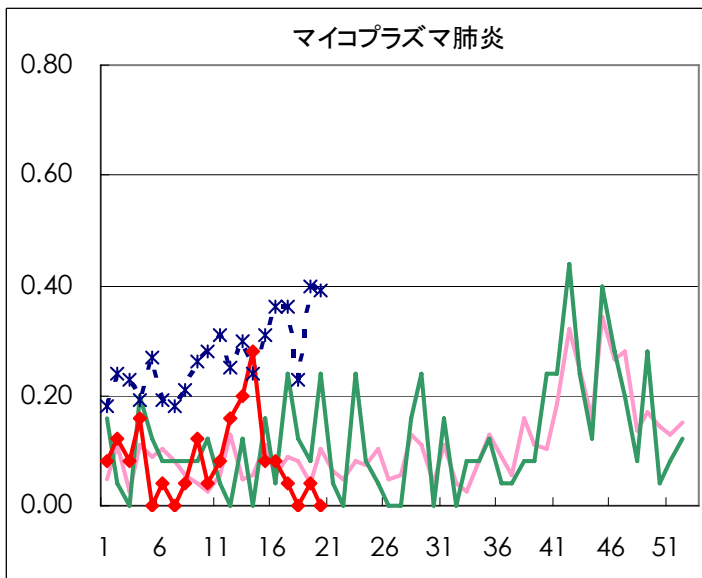
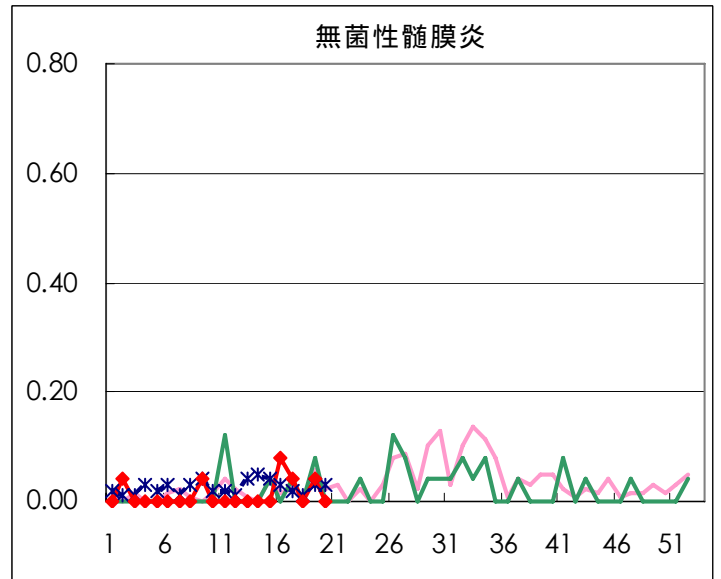
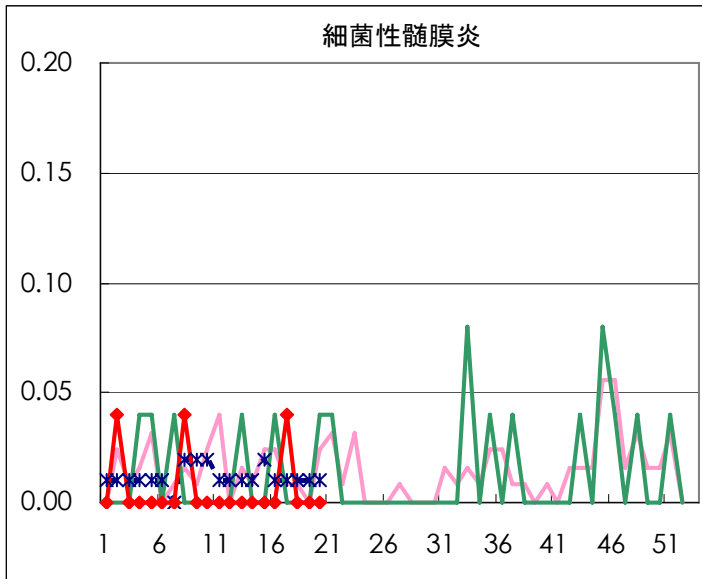




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2006年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					1					
中央区				6	5	10	1	9	4	
みなと			3	33	40	3		1		
新宿区			3	9	15	7				
文京				17	2	4		1	2	
台東		1	5	10	25	6	1	2	1	
墨田区				2	18	3		1	5	
江東区				12	23	4	1	7		
品川区			1	9	37	10		7	10	
目黒区				1	6	1		2	1	
大田区		1	30	28	57	17	5	14	5	
世田谷		2	5	10	50	13		3	6	
渋谷区				1	23	2	3			
中野区			2	12	26	3	1		3	
杉並			2	38	38	5	1	1	11	
池袋						1			5	
北区			2	15	10	6		12	3	
荒川区			9	5	27	2		1	3	
板橋区			1	1	34	4		1	1	
練馬区		2	8	16	10	11			4	
足立				4	17	1	1	3	1	
葛飾区				7	19	13	1	7	3	
江戸川		1	10	20	27	6		4	3	
西多摩		1	2	13	19	9	1	6	4	
八王子			2	24	17	7			5	
南多摩		1		3	18	2	2		2	
町田		2		19	28	4	3	1	3	
多摩立川				3	8	7	7	1		
多摩府中		1	7	9	36	9	6	4	7	
多摩小平		7	7	23	54	7	1	4	6	
島しょ			15		2	3				

東京都合計	-	19	114	350	692	180	35	92	98	-
定点当り報告数	-	0.11	0.80	2.46	4.87	1.27	0.25	0.65	0.69	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年20週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									1
中央区		1		6					42
みなと		1		2		2			85
新宿区				2		1			37
文京		1		3		1			31
台東		2		1					54
墨田区		7		10					46
江東区		8		5					60
品川区		8		4					86
目黒区									11
大田区		12		3			1		173
世田谷		7		4			3		103
渋谷区				4			1		34
中野区		1		7			1		56
杉並		3		1				3	103
池袋				1		3			10
北区		9		2					59
荒川区		10				2			59
板橋区	2	1		1			3		49
練馬区		1		2					54
足立		1		1					29
葛飾区		6		5			2		63
江戸川		3		2					76
西多摩		3		3					61
八王子		3		1			4		63
南多摩		9		2					39
町田		1		1		2			64
多摩立川				1			2		29
多摩府中		3		7			1		90
多摩小平		19		17		1			146
島しょ							1		21

東京都合計	2	120	-	98	-	12	19	3	1,834
定点当り報告数	0.01	0.85	-	0.69	-	0.86	0.13	0.02	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					0.25					
中央区				2.00	1.67	3.33	0.33	3.00	1.33	
みなと			0.50	5.50	6.67	0.50		0.17		
新宿区			0.50	1.50	2.50	1.17				
文京				5.67	0.67	1.33		0.33	0.67	
台東		0.25	1.67	3.33	8.33	2.00	0.33	0.67	0.33	
墨田区				0.67	6.00	1.00		0.33	1.67	
江東区				4.00	7.67	1.33	0.33	2.33		
品川区			0.17	1.50	6.17	1.67		1.17	1.67	
目黒区				0.33	2.00	0.33		0.67	0.33	
大田区		0.10	3.33	3.11	6.33	1.89	0.56	1.56	0.56	
世田谷		0.22	0.63	1.25	6.25	1.63		0.38	0.75	
渋谷区				0.25	5.75	0.50	0.75			
中野区			0.33	2.00	4.33	0.50	0.17		0.50	
杉並			0.33	6.33	6.33	0.83	0.17	0.17	1.83	
池袋						0.20			1.00	
北区			0.50	3.75	2.50	1.50		3.00	0.75	
荒川区			4.50	2.50	13.50	1.00		0.50	1.50	
板橋区			0.17	0.17	5.67	0.67		0.17	0.17	
練馬区		0.33	1.60	3.20	2.00	2.20			0.80	
足立				1.00	4.25	0.25	0.25	0.75	0.25	
葛飾区				1.75	4.75	3.25	0.25	1.75	0.75	
江戸川		0.20	2.50	5.00	6.75	1.50		1.00	0.75	
西多摩		0.14	0.40	2.60	3.80	1.80	0.20	1.20	0.80	
八王子			1.00	12.00	8.50	3.50			2.50	
南多摩		0.25		1.00	6.00	0.67	0.67		0.67	
町田		0.67		9.50	14.00	2.00	1.50	0.50	1.50	
多摩立川				0.50	1.33	1.17	1.17	0.17		
多摩府中		0.08	0.70	0.90	3.60	0.90	0.60	0.40	0.70	
多摩小平		0.88	1.17	3.83	9.00	1.17	0.17	0.67	1.00	
島しょ			15.00		2.00	3.00				

東京都合計	-	19	114	350	692	180	35	92	98	-
定点当り報告数	-	0.11	0.80	2.46	4.87	1.27	0.25	0.65	0.69	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年20週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区		0.33		2.00				
みなと		0.17		0.33		2.00		
新宿区				0.33		0.50		
文京		0.33		1.00		1.00		
台東		0.67		0.33				
墨田区		2.33		3.33				
江東区		2.67		1.67				
品川区		1.33		0.67				
目黒区								
大田区		1.33		0.33			0.11	
世田谷		0.88		0.50			0.38	
渋谷区				1.00			0.25	
中野区		0.17		1.17			0.17	
杉並		0.50		0.17				0.50
池袋				0.20		3.00		
北区		2.25		0.50				
荒川区		5.00				2.00		
板橋区	0.33	0.17		0.17			0.50	
練馬区		0.20		0.40				
足立		0.25		0.25				
葛飾区		1.50		1.25			0.50	
江戸川		0.75		0.50				
西多摩		0.60		0.60				
八王子		1.50		0.50			2.00	
南多摩		3.00		0.67				
町田		0.50		0.50		2.00		
多摩立川				0.17			0.33	
多摩府中		0.30		0.70			0.10	
多摩小平		3.17		2.83		1.00		
島しょ							1.00	

東京都合計	2	120	-	98	-	12	19	3
定点当り報告数	0.01	0.85	-	0.69	-	0.86	0.13	0.02

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2006年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月			1		5	3			6
～11か月			7	1	39	16	2	1	47
1歳			14	2	80	36	13	6	42
2歳			20	16	59	15	11	9	3
3歳		1	24	28	71	39		10	
4歳			18	59	71	28	4	7	
5歳			11	47	63	16		10	
6歳		2	4	40	49	6	2	9	
7歳		3	4	37	37	1	1	13	
8歳		1	2	29	36	2		6	
9歳			1	17	28	3		11	
10～14歳		9	3	30	54	11	2	8	
15～19歳		2		7	18				
20～29歳			5	37	82	4		2	
30～39歳		1							
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	19	114	350	692	180	35	92	98
先週比	-1	10	26	81	-91	-191	20	35	13

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月									
～11か月			4		1			4	
1歳			39		5			6	
2歳			31		8			2	
3歳			17		12				
4歳			11		22			1	1
5歳		2	3		15			3	1
6歳			4		13				
7歳			3		5			1	
8歳			2		6				1
9歳			1		3				
10～14歳			1		4			1	
15～19歳			1						
20～29歳			3		4		5	1	
30～39歳							4		
40～49歳							2		
50～59歳							1		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	2	120	-	98	-	12	19	3
先週比	0	1	65	0	9	-1	-11	3	1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2006年13週～20週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2006年								
		13	14	15	16	17	18	19	20	
ウイルス	アデノ	7	1	4	3	3	1	3	3	25
	ライノ	1		4	3		4		2	14
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群		1							1
	エコー									
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	1	2	2	1		1	1	1	9
	単純ヘルペス									
	水痘・帯状疱疹		1							1
	ヘルペス6/7	2	3	2	5	2	5	2	2	23
	EB	1		1				4	1	7
	サイトメガロ	2		1				1	2	6
	ムンプス		1					1	1	3
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19	1			1					2
	RS	3		1	1		1			6
	ノロ	24	80	50	18	49	15	13	8	257
	ロタ	4	4	1	2		1	1	1	14
インフルエンザAソ連型	1	2		1					4	
インフルエンザA香港型	1								1	
インフルエンザB型			5					1	6	
デング							1		1	
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター						2			2
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌					2		2	7	11
	その他の腸管系病原菌	1		3	2	2	3			11
	溶血性レンサ球菌		14		6	3	2			25
	MRSA									
	MSSA									
	その他の細菌				1					1
その他の病原体					1		1			2

臨床診断名別検出結果 2006年13週～20週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	9	37	62	1117	19	1		1	2		4	30	10	1			158	
アデノ		7	6	2	1							2					7	25
ライノ		2	3								1	2					6	14
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群				1														1
エコー																		
エンテロ71																		
その他のエンテロ		1	2		1							2					3	9
単純ヘルペス																		
水痘・帯状疱疹しん														1				1
ヘルペス6/7		1	2								1	14	1				4	23
EB		1	1								1		1				3	7
サイトメガロ				1									1				4	6
ムンプス													3					3
麻疹																		
風しん																		
パルボB19											2							2
RS			6															6
ノロ				257														257
ロタ				14														14
インフルエンザAソ連型	3	1																4
インフルエンザA香港型	1																	1
インフルエンザB型	6																	6
カンピロバクター				2														2
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	11	11
その他の腸管系病原菌																	11	11
溶血性レンサ球菌																	25	25
その他の病原体			2														2	4
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

< 感染症豆知識 >

ニパウイルス感染症

ニパウイルス感染症は、1998年～99年、マレーシア、シンガポールの養豚場や屠場の従業者に致命的（致死率は40%）な急性脳炎を起こした新興人獣共通感染症である。ニパウイルスの自然宿主のオオコウモリ（俗称「フルーツバット」）が豚にウイルスを伝播し、豚体内で増幅されたウイルスがヒトに感染した。当初は（1997年）養豚農家の成人男性に散発的に発生していた脳炎で、疫学的所見からは日本脳炎と診断された。ニパウイルスは豪州でウマとヒトに出血性肺炎（ヒトの一部では脳炎）を起こしたヘンドラウイルスと共にパラミクソウイルス科ヘニパウイルス属に分類される。発病は感染動物の体液や組織等との接触から10～15日後に、急激に現れる発熱、頭痛、筋肉痛などを示し、意識障害、痙攣などを伴い脳炎を発症する。呼吸器を冒されることは稀である。豚での死亡率は5%程度だが、感染率は非常に高く95%程度である。感染後7～14日の潜伏期を経て急性の気管肺炎を呈し、大流行する。犬猫では感受性が高く、呼吸器症状を呈する。なお、豚を介さない伝播様式は認められていない。診断は、髄液、尿、咽頭ぬぐい液からのウイルス分離、RT-PCRを用いたウイルス遺伝子検出、ウイルス中和試験により確定診断する。治療・予防は、急性脳炎の治療に準じる。ワクチンによる予防法はない。なお、バングラデシュ、インド西ベンガルにおいてヒトの発生が起き、カンボジア、インドネシアのオオコウモリからニパウイルスと交叉反応を示す抗体を見いだしている。本症は感染症法第4類感染症、家畜伝染病予防法監視伝染病に指定されている。

（文責・池田忠生）